

患者さまとご家族に安心と信頼をお届けするマガジン／

はつらつ通信

2019.7.1 July vol.155

発行：医療法人北志会 札幌ライラック病院 編集：はつらつ通信局



信頼と期待に応える取り組み 進化する総合支援センター

この春着任の新センター長が 機能的な組織づくりに着手

地域連携や在宅サービスの機能を集約した当院の「総合支援センターらいらっく」に、この2月、新しいセンター長として鍋谷健彦さんが着任しました。

鍋谷センター長は、MSW(医療ソーシャルワーカー)として複数の病院で経験を積みながら、北海学園大学大学院で学び、修士課程修了後には北星学園大学大学院の研究生となって博士課程に進学した経歴の持ち主です。大学時代は社会福祉学を学びましたが、大学院では医療経済学を専攻。MSWとして患者さまの相談を受ける中で、経済の知識の重要性を痛感して大学院進学を決意。以後、約5年にわたり医療経済と社会保障を研究してきました。

所属する北海道医療ソーシャルワーカー協会の活動を通じたMSW同士の横のつながりから、すでに当院のことは知っていたという鍋谷センター長。医療福祉をビジネス的側面から俯瞰でき、マネジメントの知識と経験も豊富な人材として、当院MSWが強く推し、総合支援センターの機能強化を担う新しいセンター長が誕生しました。今号では総合支援センターの紹介とともに、鍋谷センター長の現在の取り組みについて話を聞きました。



総合支援センターらいらっく
鍋谷健彦センター長



皆で決めるプロセスから形づくる理想の医療・介護

丁寧にかかわり、最適・最良を提供

鍋谷センター長のもと、職員全員でものごとを決めるシステムづくり。
多様な意見をくみ上げ、こまめにスピーディな意思決定をめざします。

6つの機能を集約 各部門が密に連携

総合支援センターらいらっくには
6つの部門があります。



総合支援センターらいらっく

■在宅診療部

医師が患者さまのご自宅を定期診療し、往診や看取りに365日24時間対応。実績を持つ病院のみに認められる機能強化型在宅療養支援病院になっています。

■訪問 リハビリテーション

理学療法士・作業療法士といったリハ専門職が患者さまのご自宅を定期訪問。主治医の指示のもと、身体機能の維持・回復に必要なリハビリを提供します。

■通所 リハビリテーション (デイケア)

通所のご利用者さまさまにリハビリを提供。送迎、昼食、入浴、運動などのプログラムで、ご利用者さまの1日の活動をサポートします。



デイケアのご利用者さまがリハビリ中

■地域連携部

相談員とも呼ばれるMSWが、転院や入院の相談、病棟の患者さまの退院支援、地域交流活動の企画調整などを行います。

■訪問看護ステーション

訪問看護専任の看護師が患者さまのご自宅を定期訪問。主治医の指示のもと、食事や運動、服薬の指導などを行います。

■居宅介護支援事業所

ケアマネジャーが、介護全般について相談に対応。要介護支援の申請代行や、介護保険を使ったケアプラン作成などを行います。



医師が在宅の患者さまを診察

人間味のある 温かなケアが特色

鍋谷センター長が着任して間もないころ、MSWなどの職員が患者さまお一人おひとりにじっくり関わっているのを見て、「人間味のある温かい病院だ」と感じたといいます。「外から見ると入院に時間がかかるイメージがありましたが、中に入ってみてその理由がわかりました。入院される患者さまの療養が快適になるように、職員が丁寧に意見を聞き取り、最良な方法をじっくり考えていたからなんです」。



訪問診療では世間話から体調や生活の状態を把握

みんなで合意形成 将来的には全院で

現在、鍋谷センター長が取り組んでいるのは、合意形成プロセスの浸透。「トップが決めたことを職員に下すのではなく、職員みんなが参加して決めていくシステムを今つくっているところです」。副センター長や各部署の所属長との定期ミーティング

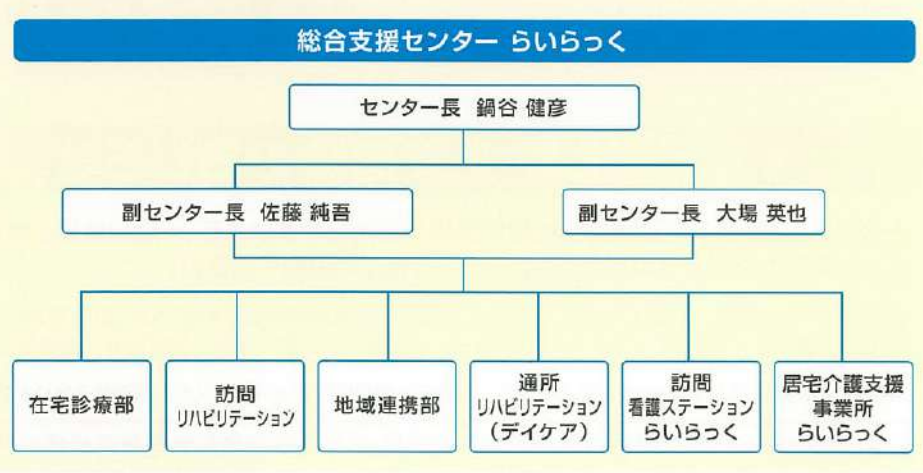


大場副センター長と打ち合わせ

合意形成のプロセスが定着すれば、職員間から声が上がります。将来的には、院内で行う会議などでも同様の取り組みを進め、センター外の院内他部署もより機能的にマネジメントしていければと、鍋谷センター長は考えています。

を望む方にお応えできる病院ですね」と、鍋谷センター長は外部の目線で評価します。充実した在宅部門があるのも当院の総合支援センターの特色です。在宅療養に包括的に関わることができ、ご家族にもご安心いただけます。「小さな地域単位に適した最良のサービスを提供できますね」。

を設け、最終決定の期限を明確化、会議終了時間を厳守。そういった条件をルールとして設定することで、以前よりも進捗が早くなりました。みんなが参加して言いたいことを言い、話をまとめてから合意形成するので、あとから「聞いていない」「これはダメ」とひっくり返せないのもメリットのひとつ。「学問的な言葉でいうと（手続民主主義）。決定事項を職員みんなで作っていくプロセス、手続きを大切にしています」。



【なべや・たけひこ】
1975年、札幌市生まれ。東北福祉大学社会福祉学部卒業後、勤医協余市診療所に入職。翌年、勤医協中央病院に異動しMSWとして勤務。小坂病院、札幌東徳州会病院を経て、2019年2月1日より現職。経済学修士。

医療法人北志会

基本理念

私たちは、地域における病院使命を果たすうえで、「安心・信頼・満足」を目指し、よりよい医療サービス実践のため日々研鑽します。

基本方針

- 一、患者様の生命を尊重し、人間としての尊厳及び権利を尊重します。
- 二、専門の医療を提供し、安心して療養に専念できる環境を整備します。
- 三、職員は、責任と誇りを持ち、日々学習し、専門職としての使命を果たします。
- 四、職種・職域を超えたチーム医療を目指します。

札幌ライラック病院は皆様に次のような権利があることを認め尊重いたします。

1. 医療を受けるにあたって、大切な一人の人間として尊重されます。
2. 受診される方の個人情報やプライバシーが守られます。
3. 病状や病名、検査結果、受ける処置やケアの内容について十分に説明が受けられます。
4. 適切な説明のもとに受診される方の意思が尊重され、最良の治療やケアが選択できるように支援します。
5. 身体的なことだけでなく、必要に応じて社会的・心理的な事柄に関しても支援されます。
6. 療養の経過すべてにわたって、ご希望されれば複数の医師の意見を求めることができます。
7. 最善で安全な医療と必要な健康教育を受けることができます。
8. 医学研究等に参加をお願いすることがありますが、拒否することによって不利益を被ることはありません。

毎年恒例のデイケア春の外出行事

満開のサクラに出合えた1週間



開花が早かった今年 見ごろの名所を探して

デイケアの春の恒例行事は、地域のサクラの名所を訪ねるお花見です。今年は5月7日(火)〜13日(月)に行いました。例年より暖かくサクラの開花が早かったため、予定している日にちでは見ごろが過ぎてしまっているのでは……と心配した職員は、開花情報を集めて複数の立ち寄り先をリストアップ。天気予報や花の状態に気をもみながら、外出行事の日を迎えました。



森林総合研究所北海道支所

今年の訪問先に選んだのは、森林総合研究所北海道支所の樹木園と旧白石サイクリングロードの「白石こころード」。事前リサーチのおかげで、行事の期間中どちらでも満開のサクラを見ることができました。特に樹木園では春風が美しい桜吹雪を演出し、ご利用者さまから感嘆の声が上がりました。



参加された全員が 満開のサクラを堪能

参加を希望される方の多いお花見は、車に長い時間乗車し、徒歩での移動もあることから、

参加にはある程度の体力が求められます。

ご希望の方全員をお連れしたいと考えた職員たちは、長時間の移動が難しい車いすのご利用者さまのために短かい行程のお花見を13日(月)に実施。月寒公園の見事なしだれ桜にご案内し、大変喜ばれました。

お花見に出かけられたご利用者さま全員に、満開のサクラを見ていただくことができ、職員も大満足の外出行事となりました。



白石こころード

送迎付き 企業健診のおしらせ

当院では、企業様が定期健診や雇用時健診に利用しやすいよう、一般の健診とは別体系の料金を設定しています。無料送迎にも応じますので、医事課までお気軽にご相談ください。

基本健診 問診、服薬歴・喫煙歴の確認 / 自覚症状・他覚症状の有無の検査 / 身長・体重・血圧・聴力検査・視力検査 / 腹囲測定 / 尿検査 / 胸部エックス線検査 / 貧血検査 / 肝機能検査 / 脂質検査 / 血糖検査

企業料金

4,000円

企業健診は企業様からのお申し込みに限らせていただきます。(お申込み人数に制限はございません。1名様からお申込みいただけます。)

【企業健診】①在職職員様対象の定期健康診断 ②新入職員様対象の雇用時健康診断があります。

※②については「心電図検査」が必要となりますが、当院では1,000円の追加料金にて当該検査をお受けいただくことも可能です。



医療法人 北志会

札幌ライラック病院

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条8丁目2番18号

☎011-812-8822 URL <http://www.lilac.or.jp>

診療時間 【平 日】 9:00~12:30 13:30~17:00
【土 曜】 9:00~12:00

面会時間 【平 日】 14:00~20:00
【土 日 祝】 12:00~20:00

